

	チ エ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	小一 免	小二 有	幼 二 有	履 修 期				備 考
									3年		4年		
									春	秋	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○				○	○	○	○	1. 小学校教員養成コースの編入学生は、卒業必修欄に○印を付された科目と☆印の付いている科目から10単位、★印の付いている科目から15単位、10専修より1専修10単位、計62単位を履修すること。 ☆”キャリアデザインⅡ”履修登録は不要となります。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○				○	○	○	○	
学 科 目 共 通	☐	教育学研究入門	演	2	○					○			
	☐	3年次ゼミ	演	2	○				○	○			
	☐	卒業研究		3	○						○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ ☆	演	1	○				○	○	○	○	
コ ー ス 必 修 科 目	☐	初等教科研究・国語(書写を含む)		2	☆	○	A	A	○				(1) 小学校教諭一種免許状を取得する学生は、卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に○印の付いている科目を履修すること。 ただし、 (2) 小学校教諭二種免許状を所有している学生は、 1. 全学共通科目2単位、学科共通科目8単位 2-1. 「小二有」欄に○印の付された科目 2-2. A印を付された科目より2単位以上 2-3. B印を付された科目より二種免許取得時に修得していない科目を含み6単位以上 2-4. C印を付された科目より2単位以上 2-1～4. の要件を含み、「小一免」欄に○印の修得単位が合計22単位以上 3. 10専修より1専修10単位 4. 上記1～3に加え、小学校教員養成コース及び他コースの専門科目から20単位以上履修し、計62単位以上単位を修得すること。 尚、履修すべき授業科目は小学校教諭一種免許状取得に必要な科目(別表10)と編入学前の学校の基礎資格及び単位修得証明書を参照のこと。 (3) 幼稚園教諭二種免許状を所有している学生は、 1. 全学共通科目2単位、学科共通科目8単位 2-1. 「幼二有」欄に○印の付された科目 2-2. A印を付された科目より5単位以上 2-1～2. の条件を含み、「小一免」欄に○印の授業科目の修得単位が合計59単位以上 3. 10専修より1専修10単位必修。 4. 上記1～3の条件を含み計62単位以上単位を修得すること。 尚、履修すべき授業科目は小学校教諭一種免許状取得に必要な科目(別表10)と編入学前の学校の基礎資格及び単位修得証明書を参照のこと。 (4) その他、前籍校での修得単位を個別に認定することがある。
	☐	初等教科研究・社会		1	☆	○	A	A	○				
	☐	初等教科研究・算数		2	☆	○	A	A		○			
	☐	初等教科研究・理科		1	☆	○	A	A		○			
	☐	初等教科研究・生活		2	☆	○	A	A			○		
	☐	初等教科研究・音楽実技Ⅰ	実	2	☆	○	○	○	○	○			
	☐	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	実	2	☆						○	○	
	☐	初等教科研究・音楽理論Ⅰ	演	1	☆	○	A	A	○				
	☐	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1	☆	○	A	A		○			
	☐	初等教科研究・図画工作Ⅰ	演	1	☆	○	A	A	○				
	☐	初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	☆	○	A	A		○			
	☐	初等教科研究・家庭		1	☆	○	A	A	A	○			
	☐	初等教科研究・体育Ⅰ	演	1	☆	○	A	A	○				
	☐	初等教科研究・体育Ⅱ	演	1	☆	○	A	A		○			
	☐	初等教科研究・外国語		1	☆	○	○	○	○				
	☐	国語科教育法Ⅰ	演	1	★	○	B	○	○				
	☐	国語科教育法Ⅱ	演	1	★	○	B	○		○			
	☐	社会科教育法	演	2	★	○	B	○		○			
	☐	算数科教育法Ⅰ	演	1	★	○	B	○	○				
	☐	算数科教育法Ⅱ	演	1	★	○	B	○		○			
	☐	理科教育法	演	2	★	○	B	○	○				
	☐	生活科教育法	演	2	★	○	B	○				○	
	☐	音楽科教育法	演	2	★	○	B	○	○				
	☐	図画工作科教育法	演	2	★	○	B	○		○			
	☐	家庭科教育法	演	2	★	○	B	○	○				
	☐	体育科教育法	演	2	★	○	B	○		○			
	☐	外国語教育法	演	2	★	○	○	○			○		
	☐	教職入門		2	○	○		○		○			
	☐	特別支援教育総論		2	○	○	○	○	○				
	☐	教育原理		2	○	○	C	○	●	●			
	☐	教育心理学		2	○	○	C	○	●	●			
	☐	教育社会学		1	○	○	C		●	●			
	☐	教育課程論		2	○	○	C	○	○				
	☐	道德教育の指導法		2	★	○	○	○			●	●	
	☐	総合的な学習の時間の指導法		2	★	○	○	○				○	
	☐	特別活動の指導法		1	★	○		○		○			
	☐	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○		○	○				
	☐	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○		○		○			
	☐	教育相談		2	○	○		○	○				
	☐	教職実践演習(小)	演	2		○	○	○				○	
	☐	初等教育実習Ⅰ		1		○		○	○		○		
	☐	初等教育実習Ⅱ	実	4		○		○		○		○	
	☐	介護体験実習	実	1		○		○	○				

チ エ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	小 一 免	小 二 有	幼 二 有	履 修 期				備 考	
								3年		4年			
								春	秋	春	秋		
コ ー ス 専 門 科 目	【学校教育実践専修】												(5)編入学前に次の科目を履修していない人は、卒業必修科目とは別に、以下のとおり履修すること。 ・体育 2単位 ⇒ スポーツと健康(小教)Ⅰ、Ⅱ ・外国語科目 2単位 ⇒ 英語Ⅰ、Ⅱ ・情報活用科目 2単位 ⇒ 情報活用演習(基礎・教職) ・日本国憲法 2単位 ⇒ 日本国憲法 2. 各科目の履修期については、学期毎に配布する時間割表を確認すること。
	☐ 現代教育課題論		2					●	●				
	☐ カリキュラムマネジメント論		2					●	●	●	●		
	☐ 生徒指導・教育相談演習		2					●	●	●	●		
	☐ 学級経営論		2					●	●	●	●		
	☐ カリキュラムデザイン演習		2					●	●	●	●		
	【英語科教育専修】												
	☐ 英語教育教材づくり論		2					●	●	●	●		
	☐ 英語教育評価論		2					●	●	●	●		
	☐ 異文化・国際理解教育		2					●	●	●	●		
	☐ ストーリーテリング		2					●	●	●	●		
	☐ 英語科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【国語科専修】												
	☐ 現代文学概論		2					●	●	●	●		
	☐ 古典文学概論		2					●	●	●	●		
	☐ 日本語学概論		2					●	●	●	●		
	☐ 日本語表現概論		2					○					
	☐ 国語科実践場面演習		2						○				
	【社会科専修】												
	☐ 地理学		2					●	●	●	●		
	☐ 歴史学		2					●	●	●	●		
	☐ 政治学		2					●	●	●	●		
	☐ 社会学		2					●	●	●	●		
	☐ 社会科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【算数・数学科専修】												
	☐ 初等代数学		2					●	●	●	●		
	☐ 初等幾何学		2					●	●	●	●		
	☐ 初等解析学		2		1			●	●	●	●		
	☐ 基礎確率・統計		2		専			○					
	☐ 算数科実践場面演習		2		修				○				
	【理科専修】				10								
	☐ エネルギー		2		単			●	●	●	●		
	☐ 粒子		2		位			●	●	●	●		
	☐ 生命		2		必			●	●	●	●		
	☐ 地球		2		修			●	●	●	●		
	☐ 理科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【音楽科専修】												
	☐ ソルフェージュ	演	2					●	●	●	●		
	☐ 歌唱法基礎演習	演	2					●	●	●	●		
	☐ 合奏	演	2					●	●	●	●		
	☐ 音楽科教育内容研究		2					●	●	●	●		
	☐ 音楽科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【図画工作・美術科専修】												
	☐ 絵画		2					●	●	●	●		
	☐ デザイン	演	2					●	●	●	●		
	☐ 彫刻	演	2					●	●	●	●		
	☐ 工芸	演	2					●	●	●	●		
	☐ 図画工作科・美術科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【体育科専修】												
	☐ スポーツ基礎理論		2					●	●	●	●		
	☐ 学校保健		2					●	●	●	●		
	☐ 運動生理学		2					●	●	●	●		
	☐ 体育原理		2					●	●	●	●		
	☐ 体育科実践場面演習		2					●	●	●	●		
	【道徳科専修】												
	☐ 道徳教育原論		2					●	●	●	●		
	☐ 道徳教育思想史		2					●	●	●	●		
	☐ 道徳教育方法学Ⅰ(教育開発演習)		2					●	●	●	●		
	☐ 道徳教育方法学Ⅱ(指導方法演習)		2					●	●	●	●		
	☐ 道徳科実践場面演習(道徳科教育学)		2					●	●	●	●		
	計			177	91								

【授業の方法】 演:演習 実:実験・実習 無印:講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

	チ エ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	小 一 免	特 支 一 免	小 二 有	幼 二 有	履 修 期				備 考
										3年		4年		
										春	秋	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○					○	○	○	○	1. 特別支援教育コースの編入学生は、卒業必修欄に○印を付された科目と☆印の付いている科目から10単位、★印の付いている科目から15単位、計62単位を履修すること。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○					○	○	○	○	
学 科 目 共 通	☐	特別支援教育研究入門	演	2	○						○			☆”キャリアデザインⅡ”履修登録は不要となります。
	☐	3年次ゼミ	演	2	○					○	○			
	☐	卒業研究		3	○							○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ ☆	演	1	○					○	○	○	○	
コ ー ス 必 修 科 目	☐	初等教科研究・国語(書写を含む)		2	☆	○		A	A	○				(1) 小学校教諭一種免許状を取得する人は、卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に○印の付いている科目を履修すること。 (2) 特別支援学校教諭一種免許状を取得する学生は、特支一免欄に○印の付いている科目を履修してください。(小学校一種免許状と併せて履修すること。)ただし、 (3) 小学校一種免許状を取得する学生で小学校教諭二種免許状を所有している学生は、 1. 全学共通科目2単位、学科共通科目8単位 2-1. 「小二有」欄に○印の付された科目 2-2. A印を付された科目より2単位以上 2-3. B印を付された科目より二種免許取得時に修得していない科目を含み6単位以上 2-4. C印を付された科目より2単位以上 2-1～4. の要件を含み、「小一免」欄に○印の修得単位が合計22単位以上 3. 上記1～2に加え、特別支援教育専門科目を含み、計62単位以上単位を修得すること。 尚、履修すべき授業科目は小学校教諭一種免許状取得に必要な科目(別表10)と編入学前の学校の基礎資格及び単位修得証明書を参照のこと。
	☐	初等教科研究・社会		1	☆	○		A	A	○				
	☐	初等教科研究・算数		2	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・理科		1	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・生活		2	☆	○		A	A			○		
	☐	初等教科研究・音楽実技Ⅰ	演	2	☆	○		○	○	○	○			
	☐	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	演	2	☆							○	○	
	☐	初等教科研究・音楽理論Ⅰ	演	1	☆	○		A	A	○				
	☐	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・図画工作Ⅰ	演	1	☆	○		A	A	○				
	☐	初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・家庭		1	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・体育Ⅰ	演	1	☆	○		A	A	○				
	☐	初等教科研究・体育Ⅱ	演	1	☆	○		A	A		○			
	☐	初等教科研究・外国語		1	☆	○		○	○	○				
	☐	国語科教育法Ⅰ	演	1	★	○		B	○	○				
	☐	国語科教育法Ⅱ	演	1	★	○		B	○		○			
	☐	社会科教育法	演	2	★	○		B	○		○			
	☐	算数科教育法Ⅰ	演	1	★	○		B	○	○				
	☐	算数科教育法Ⅱ	演	1	★	○		B	○		○			
	☐	理科教育法	演	2	★	○		B	○	○				
	☐	生活科教育法	演	2	★	○		B	○				○	
	☐	音楽科教育法	演	2	★	○		B	○	○				
	☐	図画工作科教育法	演	2	★	○		B	○		○			
	☐	家庭科教育法	演	2	★	○		B	○	○				
	☐	体育科教育法	演	2	★	○		B	○		○			
	☐	外国語教育法	演	2	★	○		○	○			○		
コ ー ス 必 修 科 目	☐	教職入門		2	○	○			○	●	●			(4) 小学校一種免許状を取得する学生で、幼稚園教諭二種免許状を所有している学生は、 1. 全学共通科目2単位、学科共通科目8単位 2-1. 「幼二有」欄に○印の付された科目 2-2. A印を付された科目より5単位以上 2-1～2. の条件を含み、「小一免」欄に○印の授業科目の修得単位が合計59単位以上 3. 上記1～2の条件を含み計62単位以上単位を修得すること。 尚、履修すべき授業科目は小学校教諭一種免許状取得に必要な科目(別表10)と編入学前の学校の基礎資格及び単位修得証明書を参照のこと。
	☐	特別支援教育総論		2	○	○		○	○	○				
	☐	教育原理		2	○	○		C	○	●	●			
	☐	教育心理学		2	○	○		C	○	●	●			
	☐	教育社会学		1	○	○		C		●	●			
	☐	教育課程論		2	○	○		C	○	○				
	☐	道德教育の指導法		2	★	○		○	○			●	●	
	☐	総合的な学習の時間の指導法		2	★	○		○	○				○	
	☐	特別活動の指導法		1	★	○			○		○			
	☐	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			○	○				
	☐	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○	○				
	☐	教育相談		2	○	○			○	○				
	☐	教職実践演習(小)	演	2		○			○				○	
	☐	初等教育実習Ⅰ		1		○			○	○		○		
	☐	初等教育実習Ⅱ	実	4		○			○		○		○	
☐	介護体験実習	実	1		○			○	○					
特 別 支 援 教 育 専 門 科 目	☐	障害者教育論		2	○		○		○					【特別支援学校教育実習について】 実習時期は4年秋学期となります。実習事前・事後指導は3年春学期～4年秋学期までの期間で実施します。
	☐	知的障害者の教育		2	○		○		○					
	☐	肢体不自由者の教育		2	○		○		○					
	☐	病弱者の教育		2	○		○			○				
	☐	発達障害者の教育		1	○		○							
	☐	インクルーシブ教育論		2	○					●	●			
	☐	視覚障害者の教育		1			○		○					
	☐	視覚障害者の心理・生理・病理		1			○		○					
	☐	聴覚障害者の教育		1			○			○				
	☐	聴覚障害者の心理・生理・病理		1			○			○				
	☐	重複障害者の教育		1			○			○				
	☐	重複障害者の心理・生理・病理		1			○			○				
	☐	発達障害者の心理・生理・病理		1			○			○				
	☐	知的障害者の心理		2			○		○					
	☐	知的障害者の生理・病理		2			○			○				
	☐	肢体不自由者の心理		2			○			○				
	☐	肢体不自由者の生理・病理		2			○			○				
	☐	病弱者の心理		2			○			○				
	☐	病弱者の生理・病理		2			○				○			
	☐	特別支援教育教材・教具制作演習△		1							○			
	☐	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育△		2								○		
	☐	特別支援学校教育実習	実	3			○			○	○	○	○	
計				116										

【授業の方法】 演: 演習 実: 実験・実習 無印: 講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

	チ ェ ッ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	J S 指	健 運 指	P S 指	履修期				備 考
									3年		4年		
									春	秋	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○				○	○	○		1. 各科目の履修期について は、学期毎に配布する 時間割表を確認すること。 ☆”キャリアデザインⅡ”は 履修登録は不要となりま す。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○				○	○	○		
学 科 目 共 通	☐	教育学研究入門	演	2	○					○			
	☐	3年次ゼミ	演	2	○				○	○			
	☐	卒業研究	演	3	○						○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ	演	1	○						○		
コ ー ス 共 通 科 目	☐	体育原理		2	○	○				○			(体育原理)
	☐	生涯スポーツ論		2	○	○			○				2. スポーツ教育コースの 編入学生は卒業必修欄 に○印を付された科目に 加えて同コース選択必修 科目から4単位履修する こと。また、加えて同コー ス及び他コースの専門科 目から22単位以上履修 し、計62単位以上単位を 修得すること。
	☐	子どもの発育発達論と運動論	演	2	○	○			○				
	☐	スポーツコーチング論		2	○	○		○		○			
	☐	スポーツ基礎理論	演	2	○	○			○				
	☐	スポーツ栄養学		2	○	○	○				○		
	☐	衛生学・公衆衛生学		2	○						○		
	☐	運動生理学		2	○	○	○			○			
	☐	スポーツバイオメカニクス		2	○		○				○		
	☐	スポーツ心理学		2	○	○	○					○	
	☐	運動処方論	演	2	○	○	○				○		
	☐	スポーツトレーニング	実	1	○	○	○			○			
	☐	スポーツ医学	演	2	○	○	○					○	
	☐	スポーツ現場実習Ⅰ	演	2	○	○				○			
	☐	スポーツ実技Ⅰ～1(表現・ダンス)	実	1	○						○		
	☐	スポーツ社会学		2	○						○		
	☐	学校保健		2	○						○		
	☐	体育科実践場面演習	演	2	○							○	
選 択 必 修 科 目	☐	スポーツ実技Ⅱ～1(陸上運動)	実	1	※1		○		○				※1より4科目以上選択 必修
	☐	スポーツ実技Ⅲ～1(体操・器械運動)	実	1	※1		○			○			
	☐	スポーツ実技Ⅳ～1(水泳)	実	1	※1		○		○				
	☐	スポーツ実技Ⅴ～1-1(球技)ネット型	実	1	※1		○		○				
	☐	スポーツ実技Ⅴ～1-2(球技)ゴール型	実	1	※1					○			
	☐	スポーツ実技Ⅵ～1(エアロビック・エクササイズ)	実	1	※1		○				○		
	☐	スポーツ実技Ⅶ(体づくり運動)	実	1	※1						○		
	☐	レクリエーション実習Ⅰ(夏季野外スポーツ)	実	1	※1				○				
	☐	レクリエーション実習Ⅱ(冬季野外スポーツ)	実	1	※1					○			
計				41									

【授業の方法】 演:演習 実:実験・実習 無印:講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

【資格名称】

JS指:ジュニアスポーツ指導員

健運指:健康運動実践指導者

PS指:初級パラスポーツ指導員

※ジュニアスポーツ指導員、および、健康運動実践指導者は、○印の科目を取得することによって資格取得のための受験資格が得られます。

※「初級パラスポーツ指導員」の資格取得を希望する場合は、上記表の○印の科目に加えて、「アダプテッドスポーツ論」、スポーツ実技Ⅸ(レクリエーションスポーツ)」を履修する必要があります。

免許法施行規則に定める科目等区分等			選定欄	授業科目	単位数	①免許なし	②小二免あり	③幼二免あり	備考	
		国語(書写を含む。)	☐	初等教科研究・国語(書写を含む)	2	◎	A	A	1. 編入学前に次の科目を履修していない人は、以下のとおり履修すること。 ・体育 2単位⇒ スポーツと健康(小教)Ⅰ、Ⅱ ・外国語科目 2単位 ⇒ 英語Ⅰ、Ⅱ ・情報活用科目 2単位 ⇒ 情報活用演習(基礎・教職) ・日本国憲法 2単位 ⇒ 日本国憲法	
		社会	☐	初等教科研究・社会	1	◎	A	A		
		算数	☐	初等教科研究・算数	2	◎	A	A		
		理科	☐	初等教科研究・理科	1	◎	A	A		
		生活	☐	初等教科研究・生活	2	◎	A	A		
		音楽	☐	初等教科研究・音楽実技Ⅰ	2	◎	◎	◎		
			☐	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	2					
			☐	初等教科研究・音楽理論Ⅰ	1	◎	A	A		
			☐	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	1	◎	A	A		
		図画工作	☐	初等教科研究・図画工作Ⅰ	1	◎	A	A		
		☐	初等教科研究・図画工作Ⅱ	1	◎	A	A			
		家庭	☐	初等教科研究・家庭	1	◎	A	A		
		体育	☐	初等教科研究・体育Ⅰ	1	◎	A	A		
			☐	初等教科研究・体育Ⅱ	1	◎	A	A		
		外国語	☐	初等教科研究・外国語	1	◎	◎	◎		
		各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	☐	国語科教育法Ⅰ	1	◎	B		◎
				☐	国語科教育法Ⅱ	1	◎	B		◎
			社会	☐	社会科教育法	2	◎	B		◎
			算数	☐	算数科教育法Ⅰ	1	◎	B		◎
			☐	算数科教育法Ⅱ	1	◎	B	◎		
	理科		☐	理科教育法	2	◎	B	◎		
	生活		☐	生活科教育法	2	◎	B	◎		
	音楽		☐	音楽科教育法	2	◎	B	◎		
	図画工作		☐	図画工作科教育法	2	◎	B	◎		
	家庭		☐	家庭科教育法	2	◎	B	◎		
	体育		☐	体育科教育法	2	◎	B	◎		
	外国語	☐	外国語教育法	2	◎	◎	◎			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		☐	教育原理	2	◎	C		◎
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		☐	教職入門	2	◎			◎
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		☐	教育社会学	1	◎	C		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		☐	教育心理学	2	◎	C	◎			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		☐	特別支援教育総論	2	◎	◎	◎			
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		☐	教育課程論	2	◎	C	◎			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		☐	道徳教育の指導法	2	◎	◎	◎		
	総合的な学習の時間の指導法		☐	総合的な学習の時間の指導法	2	◎	◎	◎		
	特別活動の指導法		☐	特別活動の指導法	1	◎		◎		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		☐	教育方法・情報通信技術活用論	2	◎		◎		
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		☐	生徒指導(進路指導を含む)	2	◎		◎		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		☐	教育相談	※ 2	◎		◎		
教育実践に関する科目	教育実習		☐	初等教育実習Ⅰ	1	◎		◎		
		☐	初等教育実習Ⅱ	4	◎		◎			
	教職実践演習		☐	教職実践演習(小)	2	◎		◎		
大学が独自に設定する科目			☐	介護体験実習	1	◎		◎		

(1) 小学校、幼稚園教諭のいずれの二種免許状も所有していない人は、①免許なし欄に◎印を付された科目すべて必修。

(2) 小学校教諭二種免許状を所有している人は、開設授業科目について次のように履修すること。(②小二免あり欄参照)
 1. ◎印の付された科目はすべて必修。
 2. A印を付された科目より2単位以上選択必修。
 3. B印を付された科目より二種免許取得時に修得していない教科を含み6単位以上選択必修。
 4. C印を付された科目より2単位以上選択必修。
 5. 1～4の条件を含み、上記すべての科目の修得単位が合計22単位以上になるように履修すること。(無印の科目も含む)

(3) 幼稚園教諭二種免許状を所有している人は開設授業科目について次のように履修すること。(③幼二免あり欄参照)
 1. ◎印の付された科目はすべて必修。
 2. A印を付された科目より5単位以上選択必修。
 3. 1～2の条件を含み、上記すべての科目の修得単位が合計59単位以上になるように履修すること。(無印の科目も含む)

チ エ ッ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	特 支 一 免	履修年次				備 考
					3年		4年		
					春	秋	春	秋	
	特別支援教育の基礎理論に関する科目								左記※印の2科目は、選択履修することが可能。ただし、特別支援学校教諭1種免許状取得の要件とはならない。 【特別支援学校教育実習について】 実習時期は4年秋学期となります。実習事前・事後指導は3年春学期～4年秋学期までの期間で実施します。
☐	障害者教育論		2	○	○				
	特別支援教育領域に関する科目								
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目								
☐	知的障害者の心理		2	○	○				
☐	知的障害者の生理・病理		2	○		○			
☐	肢体不自由者の心理		2	○	○				
☐	肢体不自由者の生理・病理		2	○	○				
☐	病弱者の心理		2	○	○				
☐	病弱者の生理・病理		2	○		○			
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目								
☐	知的障害者の教育		2	○	○				
☐	肢体不自由者の教育		2	○	○				
☐	病弱者の教育		2	○		○			
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目								
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目								
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目								
☐	視覚障害者の教育		1	○	○				
☐	視覚障害者の心理・生理・病理		1	○	○				
☐	聴覚障害者の教育		1	○		○			
☐	聴覚障害者の心理・生理・病理		1	○		○			
☐	発達障害者の教育		1	○		○			
☐	発達障害者の心理・生理・病理		1	○		○			
☐	重複障害者の教育		1	○		○			
☐	重複障害者の心理・生理・病理		1	○		○			
☐	特別支援教育教材・教具制作演習※		1			○			
☐	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育※		2				○		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習								
☐	特別支援学校教育実習	実	3	○	○	○	○	○	
	計		34						

- [注] 1. 特別支援学校教諭一種免許状を取得する者は、特支一免欄に○印を付された科目を履修しなければならない。
2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
3. 授業の方法欄に演印を付された科目は演習科目、実印を付された科目は実習科目、無印は講義科目。
4. 履修年次は、障害児教育実習及び障害児教育実習の事前・事後指導は4年次とする。
5. 特別支援学校教諭一種免許状の課程履修は、原則として教育学科の学生のみを対象とする。
6. 原則として小学校教諭一種免許状を取得する者を対象とする。